

令和3年第5回大山町議会定例会一般質問

令和3年6月22日・23日

通告順	議席番号	氏名	質問事項
1	11	杉谷 洋一	1. 高齢者が心豊かに過ごせる町にするには 2. 若者に魅力ある定住施策は
2	13	吉原 美智恵	1. 関係人口増への取り組みは 2. 高齢者への配慮施策は
3	5	森本 貴之	1. 人口減少対策について 2. 将来を見据えた子育て・教育環境の充実と生涯学習について
4	9	大杖 正彦	1. 竹口町長2期目の方針を問う 2. 空き家問題
5	6	池田 幸恵	1. 梨の被害と対策について
6	3	豊 哲也	1. 空き家対策に関して町民等との連携 2. 大山口駅前の俯瞰的な町の計画は
7	7	門脇 輝明	1. 企業誘致について 2. 急速に進展するデジタル社会への対応について
8	1	小谷 英介	1. 町のビジョンや単独力が軽視されていないか 2. 町として、今後、どのような転入者を積極的に呼ぶのか
9	13	近藤 大介	1. 学校教育の現状と課題 2. 学校給食費の無償化について 3. 硝酸態窒素による水質汚染について
10	8	大原 広巳	1. 防災対策について 2. 特産農産物の振興について
11	15	野口 俊明	1. イメージを下げる町づくりについて
12	2	西本 憲人	1. 住民参画はどこにいったのか 2. コロナ支援を住民目線で
13	4	島田 一恵	1. 働き世代の体力向上について
14	10	大森 正治	1. コロナ対策はさらに万全を 2. 町議選の投票率を上げるために 3. 補聴器の購入に助成を 4. 西部広域ごみ処理「基本構想(案)」を再び問う
15	14	岡田 聰	1. 所信表明を問う 2. 認知症対策に注力を

令和3年5月27日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 11番 大山町議会議員 杉谷 洋一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 高齢者が心豊かに過ごせる町にするには</p> <p>高齢化社会が急速に進み、本町では高齢の夫婦世帯や独居老人が増加するなか、日常生活に対する不便さや健康寿命に対する問題が深刻化してきており、避けることができない社会的課題となってきた。ニッセイ基礎研究所(2019年)の調査では、平均寿命は男性81.4歳、女性87.4歳で、健康寿命は男性72.7歳、女性75.4歳で、男性は8.7歳、女性は12.1歳の差となっている。</p> <p>この平均寿命との差を少なくするためには、高齢者が介護に頼ることなく、心身ともに自立し健康で日常生活を楽しく過ごすことができる健康寿命の伸長、すなわち平均寿命に近づけるための高齢化社会にふさわしい社会的システムの構築が必要となってきた。</p> <p>そのためには、早い時期から「食生活の改善」や「運動」など、健康な生活習慣を確立し、健康の維持増進により、常に「心と体のメンテナンス」を考えて生活することが重要であり、それには、個人の努力と行政の支援が不可欠である。</p> <p>さらに、高齢者が社会活動の交流の輪を広げ、元気で自立しながら人生に意義と価値を持ち、自分の生きがいを見つけ、充実した生活ができるための、町の特性を活かした元気な高齢者の行政システムの構築及び様々な取り組みの更なる充実強化が求められている。</p> <p>①独居・夫婦のみの高齢者世帯数の推移分析、及び高齢者の食生活の調査は。 ②老人クラブや生きがいづくりの生涯教育の活動支援は。 ③高齢者対象の大学教授などによる健康講座、及び役場の保健師・栄養士による健康・食生活改善の集落巡回座談会は。 ④高齢者が安心して暮らすための診療所の充実は。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 若者に魅力ある定住施策は</p> <p>私たちの町には他市町村にはない、豊かな自然環境や社会・経済的な多くの宝があるが、少子高齢化が進み、本町の人口は減少し、今後の町の発展や集落維持に支障をきたすと考える。</p> <p>私が議員になった12年前から、人口減少の歯止めと町の活性化のために、山陰道IC周辺は「米子駅への利便性」と「自然災害に対する安全性」や「自然環境の良さ」などの立地条件が良さを売りに、分譲住宅の造成を一般質問や、あらゆるところで提案してきました。現在、分譲住宅の造成に係る施策が徐々に実現しており、少しずつ活気がある町に向けて動き出している。</p> <p>特に、大山支所周辺は、自然環境の良さと米子駅まで15分程度の利便性や、保育園や教育施設の小中学校、スーパー、病院、郵便局、農協、駅など、周辺は、生活環境が充実しているため、民間主導による分譲住宅が進み徐々に活性化が生まれてきている。さらに、活力がある町にするためには、民間主導による分譲住宅の取り組みを継続して強化していく必要がある。</p> <p>そして、次世代を担う若者に対して、住みやすい住宅環境の整備や子育て支援・教育の充実など、将来を見据えた町の基盤体力の確立と、安定した持続可能な町づくりを行うことにより、安全で安心して暮らせ、地域経済が活性化した豊かで活力が満ち溢れる町づくりが求められている。</p> <p>①若者定住につながる環境整備は。 ②若者参加型の施策の取り組みは。 ③企業誘致による雇用創出は。 ④子育て環境の整備と充実は。 ⑤特色ある学校づくりは。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 3 年 6 月 11 日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 13 番 大山町議会議員 吉原美智恵 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 関係人口増への取り組みは</p> <p>関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人たちのことを示すことばであり、国の「まち、ひと、しごと創生総合戦略」でも移住のきっかけとなる関係として、そのケースが挙げられている。</p> <p>本町でも、東京の社団法人と連携協定を結んだようだが、どのように関係増へと展開していくのか。</p> <p>また、新型コロナの影響で地方の価値が高まっている今がチャンスである。3月の一般質問で提言した、お試し暮らしのための空き家対策や、里山整備等、課題解決への取り組みは。</p>	町長
<p>2. 高齢者への配慮施策は</p> <p>世の中はいよいよ5G時代に突入することに伴い、やっと携帯電話に慣れた高齢者が今度はスマートフォンに有無を言わず移行させられる。今や、町の中から公衆電話はほとんど消え、外出時には、携帯電話が手離せない状況である。スマートフォン購入についてろいろな懸念や不安、店頭での説明不足等、かなりの困難が伴うと予想される。</p> <p>購入相談や、使用法についての教室等、行政支援はできないか。</p> <p>また、運転免許証返納に伴う支援の一環で、この度電動車いす購入補助金が新設される予定だが、その他の支援は考えていないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 5番 大山町議会議員 森本 貴之



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 人口減少対策について</p> <p>2 期目の竹口町政の政策の基礎となる人口減少対策について質問いたします。所信表明にもありますように、子どもからご年配の方まで、町民みんなが暮らしやすいまちづくりの推進は重要であります。</p> <p>町長 2 期目の 5 本柱の一つ「町民みんなが暮らしやすいまちづくり」において暮らしやすさとは何か。また、政策課題について質問致します。</p> <p>① 住環境の整備とともに、住民と行政とがより身近に感じられる環境づくりは暮らしの安心と住みやすさにつながるのではないか。近年、大山口駅周辺には住宅が増え、子育て世代の転入も多い。現在も開放されているが、大山支所南側の芝生広場にベンチや遊具の設置等、幅広い世代の集いの場としての整備を検討できないか。</p> <p>② 公共施設官民連携 (PPP/PFI) 事業について、アドバイザー委託の現状と今後の展開は。</p> <p>③ 防災力強化において外部団体や企業との連携の現状は。また課題は。</p> <p>2. 将来を見据えた子育て・教育環境の充実と生涯学習について</p> <p>魅力ある大山町を次世代へつなげるため、教育・子育て環境の充実、支え合う意識の醸成、多様化する社会に求められる人材育成等多くの取り組みが必要であります。町長 2 期目の 5 本柱の一つ「教育・子育て・生涯学習のまちづくり」において社会の求めに応じた活躍ができる教育とは何か。次代へつなげる本町発展のため質問致します。</p> <p>① ジェンダー平等や女性活躍、男性の家事育児負担割合を高めるための具体的政策は。また現状における課題は。</p> <p>② 本町においてリカレント教育とはどうあるべきだと考えるか。どのような視点で図書館機能強化を進めるのか。</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 3年 6月 12日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 9 番

大 杖 正 彦



次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1) 竹口町長2期目の方針を問う	町長
「楽しさ自給率の高い町づくり」全国の自治体で唯一、大山町が未来づくり10年プラン(総合計画)を基本理念として掲げています。この基本理念に基き、町長は執行部と共にどの様に理解し、町づくり町政に取り組んでいるのでいるのでしょうか。	
町長は所信表明で、一期目同様に人口減少対策に加え大山に住んで良かったと思われる	
「暮らしやすい町づくり」を目指し、5本柱を打ち出されました。	
現在の大山町未来づくり10年プランは、コンサルを受けた新しい町づくりや疲弊した町の	
再生に実績ある“スタジオL”の提唱で町民と町職員が知恵と力を合わせ作成されたものです。	
2014年、日本創世会議で発表された増田レポートは、全国に衝撃を与えました。	
首都圏に20～30歳の女性が流入する現状を放置すると、全国の人口減に拍車がかかり地方	
自治体の30%が消滅する可能性がある」と指摘。これに対し安倍内閣は地方創生対策を策定。	
その目標は、①出生率アップで2060年に人口1億人の維持、	
②首都圏への転入増加を2020年に解消する、の2点です、	
自治体には、若者の雇用や移住者増など5年後の数値目標を盛り込んだ地方創生総合計画を	
策定し、自由度の高い交付金で支援したが、出生率は低迷したまま推移、又東京への転入	
超過は5万人減ったが依然10万人以上が現状です。	
町長は昨年度、町内の人口社会増を大きな成果として誇張されますが、本町の将来ビジョン	
についてお尋ねします。	
質問:	
① 町長の「楽しさ自給率の高い大山町」の実現に向けてのビジョンは。	
② 無投票当選後の大山チャンネルインタビューで観光面ではウインターに頼らないイヤー	
ラウンドの対策を考える、と抱負を語られたが、具体的な施策は。	
③ 令和6年に社会増30人、令和12年には出生率を1.95人を目標としたが、その根拠と達成	
のための対策は。	



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
2) 空き家問題	町長
町長は無投票当選が判明した後、大山チャンネルの「当選インタビュー」で人口減対策と、地域活性化のため、観光振興に力を注ぐと応えています。	
人口減対策では、「移住定住策による社会増を力説、今後は地方で暮らしながら、リモートテレワークによる移住定住が期待でき、大山町で住み空き時間などを今注目されている家庭菜園できる生活を提唱する」。	
地域活性化には観光施策も重要、これまでのウインター事業への偏りから、オールシーズン展開できる事業を考えなければならないと話されています。	
人口減対策において、官民の力で住宅供給に力を入れた一時的な人口の社会増も必要であるが本町内の各集落において大きな問題となっている「空き家」の活用対策も重要である。	
質問内容:	
① 本町の空き家減少率が全国一の自治体と報道された、町長の認識と今後の取り組み。	
② 周辺住民から苦情ある危険な「特定空き家」問題の解決策は。	
③ 当選インタビューで抱負を述べたテレワーク需要の移住定住策の具体策は。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 3年 6月 12日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 6番 大山町議会議員

池田 幸恵

**一 般 質 問 通 告 書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 梨の被害と対策について</p> <p>5月に降ったアラレや、霜が降りたことにより、本町の主幹産業といえる梨畑は甚大な被害を受けました。</p> <p>町長も被害にあわれた圃場を視察し生産者の声をしっかりと聞かれたと思います。その支援策として定例記者会見にて「ふるさと納税訳あり返礼品」として、20世紀梨とお任せ梨の返礼品が作られ、この度被害を受けた梨の販売先の確保をすと言っておられます。</p> <p>そこで、さらなる支援の拡充を求め以下のことを問います。</p> <p>① 訳あり返礼品の現在の予約状況と、周知方法は。</p> <p>② 訳あり品以外の梨を給食食材などに活用されないか。</p> <p>③ 選果場の運営経費は、梨の品種や出荷量に比例して支払われる利用料によりまかなわれています。</p> <p>昨年も低温による被害があり、今年もすでにアラレや霜による価格の低下が想定され、生産者負担割合はますます大きくなると思われま。</p> <p>農家負担の軽減策として選果場運営経費を支援しないか。</p>	<p>町長</p> <div data-bbox="1209 1742 1437 1977" style="text-align: right;"> </div>

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月13日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>①空き家対策に関して町民等との連携</p> <p>空き家対策についてお聞きします。</p> <p>本町ではありがたいことに、移住希望者が多く、空き家の供給を上回っており、いい物件があれば早期に決まるといふ他の自治体にはあまりない現状かと思えます。なかなか人手が足りない中で、多くの空き家を物件にすることは大変なことだと認識しております。</p> <p>人的リソース不足の解消のため、ご提案を含め以下の3点をご質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空き家の掘り起こし、空き家内の家財の整理などに関して、自治会・地域自主組織との連携の現状はいかがでしょうか 2. とっとり空き家利活用推進協議会が作っている空き家ガイドブックがありますが、こうした空家等対策の推進に関する特別措置法（通称空き家法）を町民の方に認知していただくようなツールは活用されていますか 3. 空き家活用に関して、不動産業者やリフォーム業者など民間企業と連携して成果を上げている事例がありますが、本町での取り組みはいかがですか 	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>②大山口駅前の俯瞰的な町の計画は</p> <p>大山町を含め、多くの地方自治体は都市計画区域外となり、駅周辺でも農地は農業振興地という場合が多く、計画的なまちづくりが難しい現状かと思えます。</p> <p>その中でも町民の方に夢のある住環境を提供する、または土地を活用した資産運用をしていただくという観点から、ある程度の計画的なまちづくりが必要かと考えます。</p> <p>特に大山口駅は新興住宅地が増えている状況ですので、大山町全域に関わることですが今回はこのエリアに特化してご質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大山口駅、大山インターまでの新規の道路、公園の建設などの予定はありますか 2. 大山口駅、大山町役場大山支所、インターチェンジから300m以内は第3種農地となり、比較的他の用途へ使いやすい土地となりますが、そうした土地を持たれた方との連携など考えておられますか 3. 大山口駅周辺の公共空間デザインへのビジョンをお聞かせください 	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月14日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇輝明

**一般質問通告書**

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1 企業誘致について</p> <p>町長が所信表明で述べられたとおり、大山町に限らず日本の最大の課題は人口減少です。</p> <p>この課題を克服するためには、まず、若者が地域に住んでもらう必要があります。</p> <p>住んでもらうためには働く場所が必要です。</p> <p>1点目は、大山町として積極的に企業誘致に取り組んでいるのか。取り組んでいるのであれば、その目的や誘致企業に対する基本的な考え方を伺います。</p> <p>企業を誘致するといっても、企業であれば何でもいい訳ではないと思います。町として、どんな企業を誘致したいと考えているのか伺います。</p> <p>2点目は、1点目と関連しますが企業誘致活動において、進出を考えている企業に対してアピールしている大山町の魅力や他の地域と比較した優位性はなにか伺います。</p> <p>進出を考える企業にとっての経営面での魅力あるポイント、例えば「地理的環境」、「人材」、「将来性」などを的確に提示しているでしょうか。</p> <p>3点目は、この4年間の企業誘致活動の状況および、現在の誘致活動を行っている担当者数とこれを支える人的体制は十分に整っているか伺います。</p> <p>企業誘致は、全国の市町村との競争です。県と連携して誘致活動を行うことは大切ですが、競争を勝ち抜くには、待ちの姿勢ではなく、情熱をもって攻める必要があると思います。</p> <p>4点目は、用地の確保についてです。高田工業団地が完売となった今、企業を誘致するための用地開発の新たな計画は考えられないか。また、大山インター工業団地の活用はどう考えているのか伺います。</p> <p>企業の希望に迅速に応えるためには、用地の準備は必須だと思います。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>2 急速に進展するデジタル社会への対応について</p> <p>国は、世界的な社会のデジタル化の波に乗り遅れているとして、デジタル庁を設置し、積極的な取り組みを進めようとしています。</p> <p>本議会においても、本年度タブレット型の情報端末を導入し、ペーパーレス化や情報処理のスピードアップ、情報共有などにより議会活動の活性化を図ることとなりました。</p> <p>そこで、本町の情報インフラの整備状況など将来のデジタル社会に向けての取り組みについて伺います。</p> <p>1 点目は、町は地域のデジタル化について基本的な構想や計画を策定しているか。または、策定を考えているのか伺います。</p> <p>今後、国はデジタル庁を中心に様々な先進的な政策を打ち出していくことが想定されます。そうした政策を、素早く有利な条件で効果的に取り入れるためには、あらかじめ構想や計画を策定しておくことが必要だと思います。</p> <p>2 点目は、町が把握している地域デジタル化の現状と課題を伺います。</p> <p>高速インターネットへの接続は、道路に例えれば、高速道路のインターチェンジを自宅の玄関前に作るようなものです。</p> <p>また、その効果は、産業のみならず、教育、医療、福祉など社会のあらゆる分野に影響します。</p> <p>3 点目は、デジタル化を担当する専任職員の配置はできないか伺います。</p> <p>デジタル化はある意味で特殊な専門的知見を必要とする分野であり、住民にとって使いやすいシステムであるためには、活用する現場と企画作成する部門の間を調整（コーディネート）する専門の窓口を置くことが有効だと考えます。</p> <p>ふるさと基金を活用して、専任の職員を配置してはどうでしょうか。</p> <p>4 点目は、高速インターネットへの接続に対する補助制度を検討できないか伺います。</p> <p>経済格差は情報格差に繋がり、情報格差は経済格差の拡大につながると言われています。</p> <p>町民間で可能な限り情報格差が生じないよう、適切な補助が必要だと考えます。</p>	<p>町長 教育長</p>

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月13日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 1番

大山町議会議員 小谷 英介 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

1) 町のビジョンや戦略が軽視されていないか？

町長

令和2年3月に策定された「大山町第2期 しごと・ひと・くらし創生総合戦略」(以下、「同戦略」という。)は、大山町の将来ビジョン・戦略・施策の方向性を示す、きわめて重要なものであり、職員が各施策の位置づけや、業務上の判断をする上での拠りどころとなるべきものである。事実、直近の町長の所信表明や、「各課の目標と重点施策」の中でも同戦略について触れられている。しかし、同戦略の肝心の中身をみると、目標設定の根拠や、目標と基本施策の関連性、内容の具体性などについて、疑問に感じる部分が多い。そこで町長に伺います。

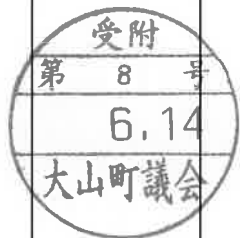
- ① 同戦略の重要性についてどう認識しているか？
- ② 同戦略の内容について、どのように評価・課題認識しているのか？
- ③ 策定にかかわる組織体制やプロセスはどのようなものだったか？戦略策定後の推進体制はどのようになっているか？
- ④ 今後の戦略の中身の見直し方針や、推進体制の強化方針はどう考えているか？

2) 町として、今後、どのような転入者を積極的に呼ぶのか？

町長

人口減少対策を考える上では、人数や出生率など、数の話ばかりが語られがちだが、今後、町の住まいの確保に割ける予算にも限界はあるし、町の抱える課題や将来ビジョンを考えても、「数」だけではなくて、「町の将来像に必要な人、相性の良い人を積極的に引き寄せる」という発想が必要であると考えている。そこで町長に伺います。

- ① 本町の将来ビジョンを踏まえ、今後どのような人(職業、ライフスタイル等)の転入を狙うのか？
- ② 所信表明をみるに、リターンを優先する意図を感じるが、その背景は？
- ③ 町の将来ビジョンに相性の良い人を誘致するための施策として具体的に何を考えているか？



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月14日

大山町議会議長 米本 隆記 様

13番 大山町議会議員 近藤 大介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 学校教育の現状と課題</p> <p>家庭環境が多様化していくなか、本町の学校教育の現状と課題について問う。</p> <p>1) 本町の小中学校での教育について、教育環境の優れている点、不足している点をどのように考えているか。</p> <p>2) そのことを踏まえ、課題解決のために、現在どのような取り組みに力を入れているか。また、今後必要な取り組みは何か。</p> <p>3) 課題解決のために、ふるさと応援基金は、どのように活用されているか。</p>	教育長
<p>2. 学校給食費の無償化について</p> <p>今回の補正予算で、人口減少対策として、ふるさと納税によるふるさと応援基金を財源に、学校給食費の全額無償化が提案されている。</p> <p>1) 学校給食費を無償化することが、人口減少対策となる根拠は。また、本施策により、どの程度の人口増を見込んでいるか。</p> <p> 通年実施した場合の予算額は7千万円近くなるが、費用対効果が乏しいのではないか。</p> <p>2) ふるさと応援基金が財源になっているが、ふるさと納税の制度がなくなった場合でも無償化を継続できるか。財政的に厳しいのではないか。</p> <p>3) ふるさと応援基金の活用は、教育環境を充実させることなど、人材育成に資する形で活用すべきではないか。</p>	町長
<p>3. 硝酸態窒素による水質汚染について</p> <p>光徳地区において、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素による、地下水の水質汚染が確認されている。</p> <p>1) 町行政として、どのように把握し、どう対応しているか。</p> <p>2) 硝酸態窒素による水質汚染の原因は何か。</p> <p>3) 硝酸態窒素を含んだ飲料水がもたらす健康被害について、どのように認識しているか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月14日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号8番 大山町議会議員 大原 広巳



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 防災対策について</p> <p>① 改正された災害対策基本法で、避難指示が一本化されたが、町の対応は。広報の予定は。</p> <p>② コロナ禍で避難所の数がこれで良いか。一時的に増やすべきではないか。</p> <p>③ 防災専門職員の活動状況は。防災訓練や講習会などの予定は。</p>	町 長
<p>2. 特産農産物の振興について</p> <p>① スイートコーンが、ブロッコリーと輪作で若手農家を中心に作付が増えている。新しい特産物として、町で振興する予定はないか。現状と今後の予定は。</p> <p>② エキナセアや大山大豆などはどうなっているか。現状と今後の予定は。</p> <p>③ 県もハウスイチゴなど、振興作物を提示しているが、現状は。</p> <p>④ コロナ禍で農協や普及所との連携はどうなっているか。いろいろな会議で、若手農家と情報交換していると思うが十分か。</p> <p>⑤ 町長の今後4年間で新たな振興ビジョンがあれば伺いたい。</p>	町 長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月14日

大山町議会議長 米本 隆記 様

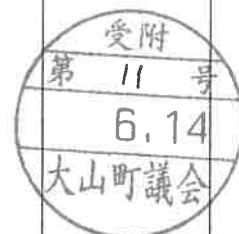
議席番号15番 大山町議会議員 野口俊明 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 40分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>イメージを下げる町づくりについて</p> <p>2期目の町政を担う上でイメージを下げない(落とし) 町づくりについての考えを伺う</p> <p>又住民の声として以下の件が生じているので これについて答弁を求める</p> <p>トイレが汚い汚れている</p> <p>トイレトペーパーがない</p> <p>水が出ない使えない</p> <p>案内板がないわからない</p> <p>芝の管理が悪くなった(雑草が多くなった) 対応が下手である</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月11日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 2 番 大山町議会議員 西本 憲人 印



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 住民参画はどこにいったのか!?</p> <p>私がこのことを取り上げたのは住民が置き去りにされていると感じたから。 具体的には現在行われている“総合計画”の見直しについてです。 総合計画は地方自治体の全ての計画の基本となり、地域づくりの最上位に位置づけられる計画であります。 この計画(10年プラン)をつくるにあたり、素案策定委員会(大山未来会議)で1年間、10～70代までの70名が300時間以上をかけて話しあい作成した計画です。 現在作成に関わった未来会議メンバーに1人も声がかからずに見直しの審議会が始まっています。 このことについて町長の考えをききたい。</p> <p>①審議会のメンバー選定基準は ②なぜ未来会議のメンバーには声がかからないのか。 今後、審議会のメンバーとして声をかける予定があるのか ③このタイミングでの審議会を行う理由は ④具体的な改訂箇所があるのか</p>	<p>町長</p> <div data-bbox="1305 1787 1544 2020" style="text-align: right;"> </div>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="236 241 938 293">2. コロナ支援を住民目線で！</p> <p data-bbox="199 394 1326 488">昨年から新型コロナウイルスの影響で、給付金・補助金等が国や県、町からも多くでています。</p> <p data-bbox="199 510 1315 604">なかにはwebでしか手続きが出来ずに困っている方や情報すら届いてない方もいる。</p> <p data-bbox="199 627 1326 721">職員も通常の業務に加え次から次にでてくるコロナ関係の制度を理解するだけでも大変だと感じる。</p> <p data-bbox="199 743 1326 837">コロナで影響があり、せっかく施策をつくってもらっても利用者の元に届かないのであれば意味がない</p> <p data-bbox="199 860 1326 954">県ではワンストップ相談窓口をもうけているが町としての対応はこれでいいのか。</p> <p data-bbox="199 1039 1126 1133">① 新型コロナの給付金・補助金の専用窓口をつくらないか ② 新型コロナ専門の代理手続の人員（士業）の配置予定は</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月13日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 島田一恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 働き世代の体力向上について</p> <p>町長が掲げておられるまちづくりの5本柱にある「行財政改革による持続可能なまちづくり」の中の項目のひとつに「町民に寄り添った行政サービスの提供」とあります。</p> <p>私は名和農業者トレーニングセンターを活用した、町営のトレーニングジムの開設を求めます。</p> <p>県内の事例として、琴浦町は町営でトレーニングジムを運営しています。</p> <p>体育館にトレーニングルームがありマシーンが自由に使えますし、トレーナーが常駐しており、個々に合ったプログラムを作り、指導されています。</p> <p>琴浦 HP によれば令和3年度4月・5月の利用者数、月に約1,700人です。</p> <p>琴浦町のように大山町でも専属トレーナーを起用し、個人指導が出来る町営のトレーニングジムの開設を求めます。</p> <p>健康づくりの選択肢が増えれば、子育て世代、若い人たちが将来に向けての体づくりをし、運動習慣が身につくことで生活習慣病の予防ができ、ひいては健康寿命を延ばすことができます。</p> <p>本町においてはカーブスやブルーディアで町民の健康体力づくりに成果をあげておられます。しかし、利用時間が限定され、料金もやや高額であるという声も聞いています。</p> <p>町営にすれば、働き盛りの昼間仕事をしている人たちにとっても、夜間の利用も可能となり体力づくりができます。</p> <p>子育て世代にとっても利用料金が安くなれば、利用しやすくなります。</p> <p>また、町営の施設であれば、出張講座を行うことができるので、直接住民サービスができることとなります。</p> <p>地域におけるサークルやスポ少等の体力向上を指導することも考えられます。</p> <p>さまざまな世代のニーズに答える為にも、民間だけではなく町営でも町民の健康増進の為に町営のトレーニングジムの開設を求めます。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月13日

大山町会議長 米本隆記様

議席番号 10番 大山町議会議員 大森正治 印

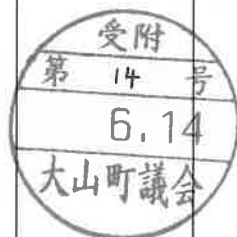


一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. コロナ対策はさらに万全を</p> <p>全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、第3波が2月に収束しかかった間もなく3月にまた拡大をし始め、4月・5月相次いで10都道府県に4度目の緊急事態宣言が発せられる事態になった。この第4波の感染拡大は、縮小傾向にあるものの6月半ばにおいてもなお続いている。</p> <p>第4波の特徴は感染力の強い変異株による感染拡大である。そのため、感染者数が少なかった鳥取県内でも連日感染者数が発生し一気に増加した。現在、県内はゼロの日が続いているが、この時にこそ、町民の命と健康を守るための感染予防対策と暮らしや営業を守るための対策の強化が、ワクチン接種と共に必要である。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 無症状者の早期発見・保護と町民が安心して社会活動をするために、希望する町民にPCR検査を無料ないし大幅補助をして実施しないか。</p> <p>(2) 大山町出身の大学生・専門学校生などへの食料などの支援を第2弾としてあるいは継続して行わないか。</p> <p>(3) 子どもがいない世帯の生活困窮者への大山町独自の支援は検討していないか。</p> <p>2. 町議選の投票率を上げるために</p> <p>国、地方を問わず選挙の投票率の低下傾向が懸念されているが、これは日本の民主主義の根本が問われるゆゆしき問題である。</p> <p>この度の町議会議員選挙は新大山町になって稀にみる多数激戦であった。それにもかかわらず、投票率は過去5回の選挙で最低の68.80%であった。前回比で6.97ポイントも急下落し、最高時の2009年比では14.32ポイントもの下落である。</p> <p>この原因は何なのか。町長選挙に対抗馬がなかったこと、コロナ禍の選挙であったこと、若者の政治離れ、高齢化の進捗、普段の議会活動や行政の現状、選挙管理委員会の態勢や選挙啓発の状況等々、多岐に検討してみる必要がある。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 大山町町議選投票率の下落傾向と今回の急下落についてどう認識しているか。</p> <p>(2) 投票率の下落に歯止めをかけ、上げていくためにどんな対策を考えているか。</p>	<p>町長</p> <p>選挙管理委員長</p>



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>3. 補聴器の購入に助成を</p> <p>加齢に伴う身体機能の低下によって、生きがいを無くしたり社会参加がおっくうになったりしがちである。それを防いで元気な高齢者として住み続けることができるよう、本町行政も様々な支援を行っている。しかし、加齢性難聴者に対する施策は未だ見受けられない。</p> <p>難聴になると、他人とのコミュニケーションがおっくうになり引きこもりがちになったり、認知症との関連も言われたりしている。聴力の機能低下を補うものとして補聴器があるが、高価であるために買い控えている高齢者が少なからずいると推測できる。そこに行政が支援の手を差し伸べることは有効な高齢者支援になると考える。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 町内の加齢性難聴者の実態を把握していたら、示してほしい。</p> <p>(2) 加齢性難聴者に対して補聴器購入の助成制度を創設しないか。</p>	町長
<p>4. 西部広域ごみ処理「基本構想(案)」を再び問う</p> <p>「一般廃棄物処理施設整備基本構想(案)」が昨年10月までに西部市町村議会の議決を経て、この5月に正式に提示されパブリックコメントが5月17日～6月15日の期間に求められている。しかし、議員にも明快な説明がないのにいきなり住民にパブコメを求めても、全く形式的な手続きというほかない。</p> <p>また、基本構想案は、ごみ処理の基本であるリデュース(ごみの抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)を積極的に打ち出すことよりも、余熱利用と称して廃プラスチックも焼却し発電すること(熱回収)を重視している。これでは、プラスチックごみの焼却・発電はリサイクルの2倍以上のCO₂を発生させることになり(中央環境審議会での報告)、日本も菅政権が掲げたパリ協定の2050年までにCO₂排出ゼロの方針に反する。そして、今の国会で4日、「プラスチック資源循環促進法」が可決成立し、プラごみを焼却する「熱回収」を減らしてリサイクル量を増やすことになった。小泉進次郎環境大臣は「熱回収はリサイクルとは呼ばない」と強調した。</p> <p>このような情勢の変化の下で、本町は西部広域行政組合の会議にどう臨まれるのか、また、本町のごみ処理の方針に変化はないのか、次の点について伺う。</p> <p>(1) ごみ処理の基本やCO₂削減と矛盾するごみ発電は見直すよう、広域行政管理組合の会議で進言する考えはないか。</p> <p>(2) プラスチックごみ、とくに硬質プラスチックは分別してリサイクルするよう方針転換する考えはないか。</p>	町長

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和3年6月14日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号14番 大山町議会議員 岡田 聰 印

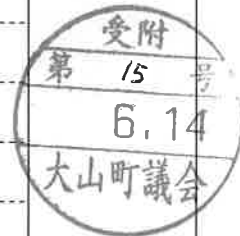


一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1、所信表明を問う</p> <p>今定例会初日の所信表明で、2期目の政策の基礎として、全ての町民が暮らしやすいまちづくりをすることと、5つの柱を挙げられた。何点か質したい。</p> <p>① 協働でのまちづくりで、これまで以上に多くの町民が関わるには、具体的にどのようなケースをお考えか。使い難い公共交通の抜本的な見直しは是非実行すべきと考える。免許返納者などが利用できる形に出来ないか。</p> <p>② 環境保全活動をはじめ、プラスチックごみやCO2の排出抑制の取組みは、当然やるべきであるが、他の自治体に比べ環境改善への取組みが弱いのでは。</p> <p>③ 町の発展には農林水産業の発展が重要ですが、具対策は。</p> <p>④ 人権施策で、部落差別をはじめあらゆる差別解消の取組みは。また、男女共同参画社会実現の取組みは。</p> <p>⑤ 行財政改革の具体策は。</p>	町長
<p>2、認知症対策に注力を</p> <p>国民の3人に1人が65歳という高齢化社会、誰でもなりうる病気と言われている。予防と共生社会実現の取り組み強化は出来ないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。